

会 議 録

会議名	令和2年度 第4回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	令和2年12月22日(火) 19時05分～20時00分	
開催場所	オンライン会議	
出席者	委員	坂根副委員長、長尾委員、田口委員、坊本委員、岩野委員、矢野委員、中島委員、小林委員、大澤委員
	事務局	山田学童保育係長
欠席	鈴木委員長、上坂委員	
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 新型コロナウイルス感染症による学童保育所の臨時休所に関する報告 (2) 令和3年度学童保育所入所申請数の報告 (3) その他 3 閉会	
配布資料	・令和3年度入所申請数（後日配布）	
議事	1 開会 ・子ども家庭部長の挨拶、鈴木委員長欠席の謝意  2 議題 (1) 新型コロナウイルス感染症による学童保育所の臨時休所に関する報告（たまむし、まえはらの臨時休所に関する経緯報告）  ①新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）の陽性者が出た場合の対応 一般的には、体調不良で受診した際、医師の判断でPCR検査を行う。 ↓ 陽性または陰性の結果を、医師から本人に連絡する。 医師は、併せて保健所へ報告する。 ※小金井市の管轄は「多摩府中保健所」 ↓ 保健所からPCR受検者本人へ、聞き取り（体調、発症前後の行動、濃厚接触者の確認等）を行う。	

**【濃厚接触者について】**

①発症 2 日前の接触状況について、以下の事実確認

- ・ (マスクなどの) 感染防止策なしに 1 m 以内の距離の接触の有無
- ・ 15 分以上の接触の有無
- ・ 同居者の有無
- ・ 感染防止策なしの介護や看護の有無

②濃厚接触者の指定

- ・ 保健所職員によって、保育園、学童、学校に以下の内容の聞き取りが行われ、保健所職員によって濃厚接触者が指定される。
  - 発症者の様子や施設の消毒の状況
  - お昼休みやおやつの時の席の配置
- ・ 保健所で検討し、確定された濃厚接触者の報告が各施設にくる。合わせて、濃厚接触者には PCR 検査を受けるよう依頼される。
- ・ 濃厚接触者の観察期間は 2 週間とされる。
- ・ なお、施設の対応 (閉所、再開時期) については市が判断する。

(学) 小学校とはどのように連携しているのか

(市) 今回の実例で説明する。

①たまむし学童保育所

<p>1 2 月 1 0 日 (木) 1 0 時頃</p>	<p>教育委員会宛てに連絡があり、陽性反応のあった児童の報告、かつ学童利用者であることも報告あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校長が、午前中のうちに、給食後の児童の引き取りを判断し、要請した。</li> <li>・ 学童や児童館は午後からの休所を判断した。</li> </ul> <p>その後、保健所から、学校長、学童保育所に聞き取りが入った。</p> <p>学童では、職員体制、部屋の広さ、換気の状況、手洗いやマスクの状況、おやつの配置等の聞き取りがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校は翌日からの休校を判断した。</li> </ul>
<p>1 2 月 1 1 日 (金) 午後 6 時 3 0 分</p>	<p>濃厚接触者が確定された。</p>

12月14日 (月)	職員は全員、PCR検査陰性と判明した。 学童では、職員体制が整ったので再開した。 ※情報提供にタイムラグがあるのが課題か。
---------------	---

②まえはら学童保育所

12月16日 (水) 午後2時	施設長からTELがあり、学童職員の陽性反応について報告あり。 児童来所の時間と重なったため、その日は児童をあずかり、翌日からの休所を判断、周知した。
--------------------	---

12月18日 (金)	保健所からの聞き取りの結果、濃厚接触者が多かったことから、施設開所に必要な職員体制が整わなかったため、 12月25日までの休所を決定した。 職員のPCR検査の結果待ち。
---------------	--

(学) たまむしの陽性反応者の報告の件、教育委員会へは誰から連絡があったのか。

(市) 本人(保護者)から学校に連絡、学校長から教育委員会に連絡があった。

この情報については内部で共有するようにしている。

(学) (たまむしの件) 12月10日の保健所の聞き取りについて、学校や本人には保健所から直接あったようであるが、学童にはあったのか。

(市) 学童については10日時点では、FAXでやりとりした。

保健所は管轄内でのコロナ陽性者の急増、またはこれまでのノウハウの蓄積により、TELでのやりとりで行うことが増えている。

(学) PCR検査の結果について、学童への連絡は保健所と本人からと、どちらの方が早かったのか。

(市) 保健所からは医師からの報告を経由して連絡がくることになる。本人から連絡をいただいた方が早い。

(学) 今回の対応については、市の想定の範囲内であったのか。

(市) 学童では初めてではあったが、部としては保育園で実績があり、保健所から聞かれる内容については部長が把握していたことから、その内容を施設に知らせて、速やかに保健所報告用の準備をすることができた。

ただし、コロナ対応については引き続き、個別に対応を協議する必要があるものと認識している。

職員が常時マスクをしていることで、児童への感染がなかった。

保護者のみなさまには、子どもの手洗いやマスクの着用を引き続きお願いするものである。学童では、子どものマスク忘れや着用を嫌がる事例の報告も受けているが、引き続き協力をお願いしたい。

## 2 令和3年度学童保育所入所申請数の報告（入所速報値）

※（ ）内は令和2年度比

たまむし 177 (+23)

あかね 216 (±0)

ほんちょう 109 (+6)

さくらなみ 171 (+34)

さわらび 107 (-4)

たけとんぼ 116 (+11)

まえはら 136 (+6)

みどり 138 (+11)

みなみ 117 (+7)

申請者数 1287 (+94)

※さわらびは令和2年度、退所者が多かったのでマイナスになった。

## 3 その他

・令和3年度の予算について、本日、内示があった。

市議会議員選挙（令和3年3月21日）の兼ね合いで、第1回市議会定例会が1月22日から始まる。

予算要求の内容については、1月の運営協議会にて報告したい。

・みどり、まえはら、さくらなみの大規模化については、学校施設を活用して対応を検討している。詳細は1月の協議会にて報告したい。

(学) 令和3年度からの宅配弁当の本格実施、例年ではなく必要時のみアンケートを実施する件について、市の調整の進捗は。

(市) 現在も指導員と調整中である。

(学) ほんちょうの大規模化の進捗は。

(市) 市としては、ほんちょうの入所者数109名(定員数90)よりも、みなみの大規模化について、優先的な対応を迫られるかと、考えている。

なお、東小、一小、四小の児童が増える見込みもあり、令和3年度以降の動向を注視している。

大規模化が進むと、民間活力の導入や、補助職員の活用を、運営協議会と協議する必要に迫られるものと考えている。

併せて運営基準の見直しに関する協議も改めてお願いしたい、と考えている。

・次回開催について、提供できる予算関連資料の準備が整い次第、日程の調整を依頼したい。コロナの状況によるがオンライン開催を予定している。

### 3 閉会

以上で、令和2年度4回小金井市学童保育所運営協議会を閉会する。